



大阪府議会
9月定例会
教育常任委員会
質問

この日の様子は
動画配信で
ご覧いただけます。



- ① EMO-1 グランプリ事業
- ② 識字・夜間中学展
- ③ 小中学校における聴覚障がい教育への支援
- ④ 小中学校における不登校への対応
- ⑤ 授業料無償化制度の効果と教育の質の確保
- ⑥ 府立高校の志願状況と再編整備について
- ⑦ 府立学校の内装リニューアルの実施
- ⑧ 府立高校における食堂への空調設備の整備
- ⑨ 選抜改善の具体的な内容と学校特色枠
- ⑩ 学びの多様化学校での生徒への関わり方

- ⑪ 教員採用選考志願者増加に向けた取組
- ⑫ 年度途中の教職員の人員確保
- ⑬ 大阪公立大学における産学官民連携の取組



9月定例会閉会日、
会派を代表して討論を
させていただきました。
討論の内容は
表面に掲載

PICK UP!

小中学校における不登校への対応

〔質疑〕 令和7年度より大阪府不登校支援センター「まいど」が開設された。我が会派として、9月に当センターを訪問し、施設の様子を視察させていただいた。支援にあたっては、多様な人材が子どもたちに関わっているとのことだったが、子どもたちにとっては、とりわけ年齢の近い学生スタッフが身近にいることが重要と考える。多様な人材による具体的支援の内容について、小中学校課長に伺う。

〔答弁〕 大阪府不登校支援センターには、府教育庁の指導主事3名、校長経験のある支援員2名、教職を志望する学生スタッフが1日あたり2名、カウンセラー1名を配置。学生スタッフは、子どもたちにとって、安心して話したり相談したりできる身近な存在であると実感している。今後も子どもたちの社会的自立に向けた支援を充実させていく。

PICK UP!

府立高校の志願状況と再編整備について

〔質疑〕 8月の教育委員会会議において、門真西高校と懐風館高校の募集停止案が公表された。この案が決定されれば、羽曳野市唯一の府立高校である懐風館高校が閉校してしまうことになる。今後、さらに府立高校が減少し、府立高校のない市町村が増え続ければ、地域によっては、府立高校に通うことができない状態が生じるのではないかと危惧している。

また、令和7年度入学選抜では、約半数の学校が定員割れをしているという結果からも、公立離れが加速していると感じている。そこで、府立高校の定員割れが進んでいる状況をどのように考えているのか、教育長に伺う。

〔答弁〕 再編整備対象校の決定にあたっては、中学生の就学機会の確保を前提に、対象校に通っている生徒の出身地域に在籍する中学生が、高校への就学を断念するような事態が生じないよう、総合的に判断している。

定員割れとなっている府立高校が増えている状況については、少子化が進む中、私立高校の授業料無償化や通信制高校への進学など、生徒の選択の幅が広がった結果であると受け止めている。

府教育庁としては、府立高校が子どもたちに選ばれる学校となるよう、一層の魅力化・特色化を進めていく必要があると認識。府立高校改革アクションプラン案に掲げる、将来を見据えた、大阪の教育の質の向上に向けた改革を計画的かつ着実に進めていく。

〔要望〕 そもそも府立学校条例があるがために、定員割れが風評被害となっているのではないかと、わが会派からは以前より指摘してきた。例えば、定員割れが2年連続であっても、中学生や保護者にとっては、いつか閉校してしまうのではないかと不安を持ち、志願を避けようとする状況が生じているのではないかと。

このようなことから、平成24年から続くこの「3年連続定員割れ」ルールは、10年以上経過し、社会情勢も変化し、現状に適していないものになっているのではないかと。本条例があることで、子どもたちの進路選択に与える影響にもしっかりと向き合っていただき、現状に即したものになるよう検討してほしい。

PICK UP!

府立高校における食堂への空調設備の整備

〔質疑〕 我が会派の代表質問において、府立学校における空調未整備の特別教室などへの空調設置についての進捗状況を質問した際、教育長から、「今後、整備方針を決定したうえで、1日でも早い設置に向けて、関係部局と協議する。」との答弁があった。

私は、特別教室はもちろん、それ以外の部屋についても整備されていないことを危惧している。実際、地元の母校・千里高校においても食堂の空調が整備されていない。

近年の猛暑が続く中、早急に改善すべきである。

そこで、現在の府立高校の食堂における空調の整備状況と、今後、どのように整備を進めていく予定なのか、施設財務課長に伺う。

〔答弁〕 府立高校の食堂については、現在、146校のうち68校で空調が整備されているところである。府立高校の魅力向上を図り、生徒が学校生活を有意義に過ごすためにも、空調未整備の学校については、対策を検討し、関係部局と協議していく。

